

長野市民病院で外来維持血液透析を受けている患者さんへ
看護研究にご協力をお願い致します。

「当院におけるシャント反復穿刺の実態と背景要因を踏まえた分散穿刺率向上への介入」
を実施しています。

長野市民病院医倫理委員会の審査による長野市民病院長の承認を得て実施しています。この研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し、可能な限り拒否の機会を保障することが必要とされています。

医倫理審査承認番号	2026 市病倫第 0079 号
研究課題名	当院におけるシャント反復穿刺の実態と背景要因を踏まえた分散穿刺率向上への介入
所属	長野市民病院 看護部
研究責任者	第 1 外来看護師長 臼田志津子
調査実施期間	医倫理承認後～2027 年 3 月
調査の意義、目的	血液透析を受ける患者さんにとって、シャントは透析を継続するために重要な血管です。近年、透析患者の高齢化が進み、加齢に伴う動脈硬化や血管の脆弱化に加え、慢性腎臓病に伴う血管石灰化など、血管障害につながるさまざまな背景があります。そのため、シャント血管を良好な状態で維持するためには、日常の管理に加え、適切な穿刺を行い、血管への負担をできるだけ軽減することが重要です。 特に、同じ場所や近い場所への穿刺を繰り返すことは、血管への局所的な負担につながる可能性があるため、穿刺部位を計画的に変更する「分散穿刺」が推奨されています。 当院では、シャント穿刺において同じ場所や近い場所が繰り返し選ばれることがあります。その実態や、穿刺部位の選択・変更に関わる背景や要因については十分に把握できていません。 そこで本研究では、当院におけるシャント穿刺の実態を明らかにします。その結果をもとに、分散穿刺を行いやすくするための支援や取り組みを行い、その効果を検証することで、よりよい穿刺・シャント管理につなげることを目的とします。
対象となる方	2026 年 6 月 1 日～2027 年 3 月 31 日に当院で維持血液透析を受けた外来患者さん

利用する診療録	1. 電子カルテより以下の情報を抽出する 年齢、性別、透析歴、シャントの種類、シャント感染既往の有無、経皮的シャント血管拡張術歴、シャント再建歴、現シャント使用歴、他院での透析歴、CKD の原因疾患、採血データ 2. 透析記録より以下の情報を抽出する シャント穿刺部位、反復穿刺の有無、分散穿刺の有無、シャント瘤の有無、シャント止血状況、穿刺部位に関連した狭窄の有無、穿刺部皮膚の菲薄化の有無、透析中の静脈圧・脱血圧の状況
研究方法	過去の診療録より上記の内容を収集し、外来で維持血液透析を受けている患者さんのデータ内容を数値化し、穿刺方法や背景要因の違いによる合併症出現の有無の比較を行います。
調査代表者	長野市民病院 第1外来（透析センター所属） 看護師 小林由紀江
問い合わせ先	長野市民病院 第1外来（透析センター所属） 看護師 小林由紀江 電話 026-295-1199

既存の診療記録、検査結果を調査、集計しますので、新たな検査、検体の採取の必要はありません。また当院外へ患者さんを直接特定できる個人情報ができることはありません。利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除いたします。この調査にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明点につきましては、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。 研究に不参加を申し出られた場合も、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、既に結果が公表されていた場合や資料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を破棄できない場合もあり、引き続き使用させていただくことがあります。 研究成果は、今後医学、看護の発展に役立つように学会等で発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用致しません。